

平成22年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名：沖縄県

農業委員会名：糸満市農業委員会

I 法令事務に関する点検

1 総会等の開催及び議事録の作製

(1) 総会等の開催日の周知状況 ア 周知している イ 周知していない又は周知していなかった

改善措置	
------	--

(2) 総会等が公開である旨の周知状況 ア 周知している イ 周知していない又は周知していなかった

改善措置	
周知していない場合、その理由	

(3) 総会等の議事録の作製 ア 作製している イ 作製していない又は作製していなかった

作製までに要した期間	14日
改善措置	

※ 作製までに要した期間については、議事録の作製の手続き及びそれに要した平均日数を記入

(4) 議事録の内容 ア 詳細なものを作製している イ 概要のみで作製している又は作製していた

改善措置	
------	--

(5) 議事録の閲覧 ア 閲覧に供している イ 閲覧に供していない又は供していなかった

閲覧者の有無	有		件 <input checked="" type="radio"/> 無	
改善措置				

※ 閲覧者有りと答えた農業委員会については、件数を記入

2 事務に関する点検

(1) 農地の権利移動の許可等

(1年間の処理件数:135件、うち許可135件及び不許可 0 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	農業委員調査員と事務局職員で現場確認調査を実施する			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	調査員による調査報告に基づき総会で審議を行い可否を決定する			
	是正措置				
申請者等への審議 結果の通知	実施状況	申請者への結果通知を行った件数 135件			
		通知した内容:農地の権利移動許可になった旨通知			
		申請者への結果通知を行わなかった件数 0件			
		通知しなかった理由:			
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	審議結果公表している			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から10日	処理期間(平均)	7日
	是正措置				

(2) 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数:50件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	住宅30件、駐車場6件、資材置場8件 計 26件 12,385.62㎡			
	是正措置	専用道路、牛舎堆肥舎、店舗、等 計32件 6,569.8㎡			
総会での審議	実施状況				
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	審議結果公表している			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から10日	処理期間(平均)	15日
	是正措置				

(3) 遊休農地に対する指導等

点検項目	実施状況
------	------

点検項目	実施状況		
管内の要活用農地の面積及び筆数	面積 132ha	筆数50筆	
要活用農地への指導の件数及び改善状況	指導件数44件	指導面積 5.1ha	指導対象者 44人
	改善状況	指導の結果、耕作された面積及び筆数5.1ha、50筆、担い手への農地の利用集積に結びついた面積及び筆数	
指導を行わなかった要活用農地の面積及び筆数並びにその理由	面積127ha	筆数 1,310筆	対象者 400人
	理由	農地であるが原野化しており近々に土地改良事業で基盤整備実施の予定がある	
要活用農地のうち遊休農地の指導の開始に際し定めた、市町村長に対し特定遊休農地である旨の通知を行う期日が到来しているものの面積及び筆数並びに市町村長に対する要請の状況	面積	筆数	対象者
	要請の状況 (要請していないものがある場合はその理由)		

(4) 農業生産法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農業生産法人からの報告について	管内の農業生産法人人数	12法人
	うち報告書提出農業生産法人数	12法人
	うち報告書の督促を行った農業生産法人数	1法人
	うち督促後に報告書を提出した農業生産法人数	1法人
	うち報告書を提出しなかった農業生産法人	0
	提出しなかった理由	
	対応方針	
農業生産法人の状況について	農業生産法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農業生産法人数	0
	対応状況	農業生産法人1社が督促後に報告書提出

(5) 地域の農業者等からの意見等

--	--

農地の権利移動の許可等	農地の権利の移動に関しては早めに許可等を出して欲しい
農地転用に関する事務	市街化調整区域内で農家の分家住宅の場合規制があるか
遊休農地に対する指導等	遊休農地になっている土地を賃貸借したい。
農業生産法人からの報告への対応	農業生産法人は毎年事業年度終了後3ヶ月以内に報告書提出することになっていますが、期間が過ぎるとどうなりますか。
その他法令事務にかんするもの	

※ 地域の農業者から寄せられた主な意見等について、同内容のものは集約して記入

II 促進等事務に関する評価

1 認定農業者等担い手の育成及び確保

(1) 現状、課題及び平成23年度までの目標

農家数	1272戸	認定農業者	特定農業法人	特定農業団体
-----	-------	-------	--------	--------

現 状	うち主業農家	364戸	111経営	
	農業生産法人数	12法人		
課 題				
平成23年度までの目標	認定農業者	特定農業法人	特定農業団体	
	127経営			

(2) 平成21年度の目標及び実績

	認定農業者	特定農業法人	特定農業団体
目標	127経営		
実績	111経営		
達成率	87%		
累計	111経営		

※ 累計は、(1)の現状の認定農業者等の実績の数の合計

(3) (2)の目標の達成にむけた活動

	認定農業者	特定農業法人	特定農業団体
活動計画	市長部局との連携による説明会		
活動実績	地域別での説明会開催		

(4) 評価の案

	認定農業者	特定農業法人	特定農業団体
目標に対する評価の案	目標5経営に対して8経営は評価する		
活動の評価案に対する意見等	活動評価は農政部局との連携によるものである		

(5) 地域の農業者等からの意見等

目標の評価案に対する意見等	目標の5経営体を上回る8経営体で若い担い手がふえることは大変よいこと
活動の評価案に対する意見等	市内各地域において説明会を開催。市長部局、農業委員で開催した。

※ 地域の農業者等から寄せられた主な意見等について、同内容のものは集約して記入

(6) 地域の農業者等からの意見等を踏まえた評価の決定

	認定農業者	特定農業法人	特定農業団体
目標に対する評価	標値を上回る		
活動に対する評価	地域での活動を行う説明会開催による		

2 担い手への農地の利用集積

(1) 現状、課題及び平成22年度までの実績

現状	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	1595ha	257.1ha	16.10%

課題	農業従事者の減少高齢化による耕作放棄地への増加、農地の分散化がある。南部地域は零細農家が多いため担い手が耕作する農地も分散化し作業の効率も低下している。		
平成22年度までの実績	これまでの集積面積	達成状況	累計
	257.1ha	5.6ha	262.7ha

(2) 平成22年度の目標及び実績

目標	実績	達成状況	累計
面積 ha	5.6ha	17%	262.7ha

※ 累計は、(1)のこれまでの集積面積と実績の面積の合計

(3) (2)の目標の達成に向けた活動

活動計画	円滑な権利移動が出来るよう広報誌等活用し、農業基盤強化促進法による利用権設定の実施
活動実績	管内の農地所有者を対象にアンケート調査による意向調査。担い手への農地の利用集積に向けたあっせん活動

(4) 評価の案

目標に対する評価の案	目標が16.1%から17%への設定であるが30%以上に持っていきたい
活動に対する評価の案	担い手との説明会や意見交換会を開催して農地の集積を図る

(5) 地域の農業者等からの意見等

目標の評価案に対する意見等	担い手への農地の利用集積については基盤整備がすすんでいる地区で集積したほうがよい
活動の評価案に対する意見等	若い担い手が生産活動を行える様団地化して整備した土地改良区で一緒に作物が作れるようにした方がよい

※ 地域の農業者等から寄せられた主な意見等について、同内容のものは集約して記入

(6) 地域の農業者等からの意見等を踏まえた評価の決定

目標に対する評価	基盤整備完了地区に集積する
活動に対する評価	担い手に農地の利用集積にむけて農業委員のあっせん活動

3 耕作放棄地の解消

(1) 現状、課題及び平成22年度までの目標

現状	管内の農地面積	耕作放棄地の面積	耕作放棄地率
	1595ha	133ha	16.10%

課題	南部地区は基盤整備の未整備地区が多いため耕作放棄地の解消が進んでいない。		
平成23年度までの目標	これまでの解消面積	目標	合計
	32ha	32ha	32ha

(2) 平成21年度の目標及び実績

目標	実績	達成状況	累計
5ha	5ha	100%	8ha

累計は、(1)のこれまでの解消面積と実績の面積の合計

(3) (2)の目標の達成に向けた活動

活動計画	各地区の農業委員が担当地区の調査を行い耕作放棄地を地図に写し耕作放棄地を確認する。
活動実績	委員と事務局で調査をした耕作放棄地地主に放棄地になっているので早めに解消するようにおねがいをした。

(4) 評価の案

目標に対する評価の案	目標値が少し低いと思う。目標値を8h～10hにあげるようにしたい
活動に対する評価の案	活動は担い手や農業青年に説明会、意見交換会を開催して交流を図る。

(5) 地域の農業者等からの意見等

目標の評価案に対する意見等	基盤整備が遅れている地区を早めに土地改良事業等で整備してほ場整備を行い機械化農業を進める
活動の評価案に対する意見等	機械化農業推進することにより時間的に余裕が出来る。

※ 地域の農業者等から寄せられた主な意見等について、同内容のものは集約して記入

(6) 地域の農業者等からの意見等を踏まえた評価の決定

目標に対する評価結果	目標値が少し低いと思う。耕作放棄地の10%くらいあげないといけない
活動に対する評価結果	ほ場が整備されると農作業効率もよくなり時間に余裕ができる。

5 農地パトロール

(1) 平成22年度の活動計画及び活動実績

活動計画(実施時期、体制、実施回数等)	4月 農業委員会の総会で検討会を開催 4月～11月 地区担当農業委員、地区ごとに実施期間、協力委員の設置人数等を検討 9月～12月 週に全農業委員及び事務局で全地をパトロール
活動実績	4月 農業委員会の農業委員会総会で各区の委員によるパトロール 4月～11月 各地区委員が地区を決めてそれぞれに調査を実施 9月～12月 全委員及び事務局職員を含めて全地区パトロール

(2) 評価の案

活動に対する評価の案	農地パトロールは各地区選出の委員が日頃から自分の地区をパトロールを実施しており耕作放棄地や遊休農地を調査を行っている
------------	--

(3) 地域の農業者等からの意見等

活動の評価に対する意見等	耕作放棄地や遊休農地は各地区員が調査を行い9月～12月に全委員、事務局職員を含めて全地区パトロールを行っているので耕作放棄地や遊休農地は図面にプロットしているため確認がしやすい。
--------------	---

※ 地域の農業者等から寄せられた主な意見等について、同内容のものは集約して記入

(4) 地域の農業者等からの意見等を踏まえた評価の決定

活動に対する評価決定	農地パトロールは出身地の委員がパトロール等を普段から実施しているとのことであり、また12月には全員で事務局含めて行っているため放棄地や遊休地確認が出来る。
------------	---

6 農地情報の整備と共有化

(1) 平成21年度の活動計画及び活動実績

農地基本台帳の情報の更新に関する活動計画	毎月総会終了後、権利移動や転用等の状況について情報の更新実施
農地基本台帳の情報の更新に関する活動実績	9月に行う全農地パトロール等により把握した情報を基に点検及び補正を実施
共有化に関する活動計画	糸満市担い手育成総合支援育成協議会と連携の上、進める
共有化に関する活動実績	毎月農地の権利移動や転用の状況について情報の更新を実施

(2) 評価の案

農地基本台帳の情報の更新に関する活動に対する評価の案	農地基本台帳は毎月総会後に情報の更新をしており移動後早急にデータ変更している
共有化に関する活動に対する評価の案	共有化に関しては糸満市担い手育成支援協議会と連携して進める

(3) 地域の農業者等からの意見等

農地基本台帳の情報の更新に関する活動の評価案に対する意見	農地基本台帳は速やかに情報の更新を行う
共有化に関する活動の評価案に対する意見	共有化に関しては権利移動があった場合は早めに情報を更新する

※ 地域の農業者等から寄せられた主な意見等について、同内容のものは集約して記入

(4) 地域の農業者等からの意見等を踏まえた評価の決定

農地基本台帳の情報の更新に関する活動に対する評価結果	農地基本台帳の情報は速やかに情報入力する
共有化に関する活動に対する評価結果	共有化に関する活動は関係課との連携を図る

4 違反転用への適正な対応

(1) 違反転用の状況

違反転用の状況	件数 0件	面積 0m ²	主な用途
---------	-------	--------------------	------

(2) 平成年度の目標案及び活動計画案

目標案	違反転用 0件
活動計画案	農業委員は各地区から選出された委員であり、普段から地域の農地パトロール実施しており違反転用等があれば事務局に連絡して農業委員とで現場確認に行き調査する

※ 活動計画案は、目標案の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

(3) 地域の農業者等からの意見等

目標案に対する意見等	農業委員が各地区にいるので自分の担当地区を農地パトロール等を行い農地のパトロール等により違反転用がないか調査をしている
活動計画案に対する意見等	農業委員19名が各地区で出身区の農地のパトロールを行い耕作放棄地や遊休農地等を調査しているので違反転用がないよう頑張っている

※ 地域の農業者等から寄せられた主な意見等について、同内容のものは集約して記入

(4) 地域の農業者等からの意見等を踏まえた平成年度の目標及び活動計画

目標	違反転用 0件
活動計画	平成22年度も農地のパトロールを各地区、各委員が担当地区内を農地パトロールを実施し違反転用がないように調査を実施する